



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月10日

上場取引所 札

上場会社名 北海道中央バス株式会社

コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 牧野 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

四半期報告書提出予定日 平成28年2月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	26,878	△0.7	1,095	161.8	1,221	130.8	795	145.3
27年3月期第3四半期	27,061	5.2	418	△20.5	529	△16.3	324	△16.1

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 981百万円 (59.9%) 27年3月期第3四半期 613百万円 (△25.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	30.35	—
27年3月期第3四半期	12.35	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	38,710	28,650	73.5
27年3月期	37,978	27,837	72.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 28,470百万円 27年3月期 27,649百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,790	△0.0	1,730	52.6	1,870	47.4	1,000	17.1	38.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	31,460,000 株	27年3月期	31,460,000 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	5,266,699 株	27年3月期	5,203,444 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	26,201,986 株	27年3月期3Q	26,259,149 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や雇用・所得環境の改善が見られ、緩やかな回復基調が持続しておりますが、新興国経済の減速による景気の下振れリスクの存在などにより、先行きについては不透明な状態で推移しております。道内の経済においても、観光や民間設備投資などの改善を背景に緩やかに回復しておりますが、公共投資の減少などもあり、今後の動向を注視する必要があります。

このような経営環境の中、当社グループは、地域社会に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、収支改善や経営体質の強化などに取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は26,878百万円（対前年同期比0.7%減）、営業利益は1,095百万円（同161.8%増）、経常利益は1,221百万円（同130.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は795百万円（同145.3%増）となりました。

事業別の業績は、次のとおりであります。

## ①旅客自動車運送事業

乗合運送事業は、札幌市内線における輸送需要を勘案したダイヤ編成の見直しや、都市間高速バスでの運行便数の増回など、増収に向けた施策を実施しました。これらのほか、前年度の消費増税に伴う乗車券駆け込み購入の反動減からの回復、前年度のプリペイドカード乗車券の発売終了による減収からの回復、定期観光バスにおける外国人利用客の増加もあり、増収となりました。

貸切運送事業は、新運賃・料金制度の適用により一車当たりの稼働額は上昇しましたが、長期契約の解約などにより減収となりました。

この結果、売上高は16,135百万円（対前年同期比1.9%増）、バス燃料費の減少もあり営業利益は859百万円（同146.8%増）となりました。

なお、貸切運送事業は、通常の営業形態として夏期が繁忙期であるため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## ②建設業

道内における公共工事の発注額が年々減少している中、民間工事の受注に努めたことにより受注高は増加しましたが、完成工事高は減少しました。

この結果、売上高は7,439百万円（対前年同期比3.4%減）、工事原価の減少により営業利益は242百万円（同120.2%増）となりました。

## ③清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規契約の獲得などにより増収となりました。

この結果、売上高は2,194百万円（対前年同期比9.5%増）、営業利益は99百万円（同73.2%増）となりました。

## ④不動産事業

不動産事業は、テナントの解約などがありましたが、新規契約の獲得により前年同期並みの売上高を確保しました。

この結果、売上高は639百万円（対前年同期比0.1%減）、営業利益は268百万円（同1.7%増）となりました。

## ⑤観光事業

ニセコアンヌプリ国際スキー場は、外国人スキー客が増加しました。小樽天狗山スキー場は、国内外の個人客の来場により、ロープウェイ利用客が増加しました。ニセコ温泉郷「いこいの湯宿いろは」は、平成27年6月にリニューアルオープンし、国内外の個人客を獲得したことなどにより増収となりました。

この結果、売上高は421百万円（対前年同期比14.5%増）、修繕費の増加などにより388百万円の営業損失（前年同期は377百万円の営業損失）となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## ⑥その他の事業

介護福祉事業は、複合型サービスの利用者が増加しました。自動車教習所は、新たに適性診断業務を開始したことが増収に寄与しました。旅行業は、地域に特化した企画商品の受注が好調でありました。

この結果、売上高は2,840百万円（対前年同期比2.5%増）、営業利益は47百万円（同173.8%増）となりました。

## (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月15日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしました。

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	36,100	950	1,070	630	23.99
今回修正予想 (B)	36,790	1,730	1,870	1,000	38.18
増減額 (B - A)	690	780	800	370	—
増減率 (%)	1.9	82.1	74.8	58.7	—
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	36,801	1,134	1,269	854	32.55

## 修正の理由

旅客自動車運送事業の売上高が、高速バスなどの利用者増加により前回予想を上回るほか、バス燃料費が前回予想を下回るなどによるものであります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,762,413	4,245,054
受取手形及び売掛金	4,028,908	3,823,165
有価証券	2,299,857	2,899,842
原材料及び貯蔵品	153,777	149,257
未成工事支出金	113,523	792,697
その他	400,873	878,644
貸倒引当金	△1,313	△746
流動資産合計	11,758,040	12,787,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,427,823	19,598,000
減価償却累計額	△14,739,514	△14,928,435
建物及び構築物(純額)	4,688,309	4,669,565
車両運搬具	25,175,452	24,419,711
減価償却累計額	△20,520,322	△20,474,476
車両運搬具(純額)	4,655,129	3,945,235
土地	10,701,805	10,688,962
その他	4,200,911	4,599,392
減価償却累計額	△3,658,588	△3,686,892
その他(純額)	542,322	912,500
有形固定資産合計	20,587,567	20,216,264
無形固定資産	173,580	165,236
投資その他の資産		
投資有価証券	5,028,701	5,120,333
その他	457,348	445,265
貸倒引当金	△26,535	△24,536
投資その他の資産合計	5,459,514	5,541,062
固定資産合計	26,220,662	25,922,564
資産合計	37,978,703	38,710,480

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,209,451	2,387,889
未払法人税等	127,552	287,585
賞与引当金	185,206	94,309
その他の引当金	59,683	20,188
その他	3,467,030	3,118,822
流動負債合計	6,048,925	5,908,795
固定負債		
退職給付に係る負債	2,960,970	2,924,792
役員退職慰労引当金	295,136	293,454
その他	835,994	933,053
固定負債合計	4,092,101	4,151,300
負債合計	10,141,026	10,060,096
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	25,264,031	25,914,000
自己株式	△1,184,261	△1,207,300
株主資本合計	26,930,870	27,557,801
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,092,395	1,254,769
退職給付に係る調整累計額	△373,825	△341,990
その他の包括利益累計額合計	718,569	912,778
非支配株主持分	188,236	179,803
純資産合計	27,837,676	28,650,383
負債純資産合計	37,978,703	38,710,480

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	27,061,678	26,878,900
売上原価	24,905,034	23,920,277
売上総利益	2,156,644	2,958,623
販売費及び一般管理費	1,738,171	1,863,145
営業利益	418,472	1,095,477
営業外収益		
受取配当金	58,365	67,098
持分法による投資利益	15,586	15,968
その他	45,738	43,701
営業外収益合計	119,689	126,769
営業外費用		
支払手数料	—	633
自己株式取得費用	—	133
その他	8,912	36
営業外費用合計	8,912	803
経常利益	529,249	1,221,443
特別利益		
固定資産売却益	20,704	11,916
投資有価証券売却益	5,669	21,170
その他	3,600	510
特別利益合計	29,975	33,597
特別損失		
固定資産除売却損	46,988	34,515
減損損失	5,215	10,713
その他	2,446	105
特別損失合計	54,650	45,334
税金等調整前四半期純利益	504,574	1,209,705
法人税、住民税及び事業税	196,040	463,753
法人税等調整額	462	△41,439
法人税等合計	196,503	422,313
四半期純利益	308,071	787,392
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△16,134	△7,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	324,205	795,325



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	308,071	787,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	267,391	161,987
退職給付に係る調整額	38,302	31,835
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	386
その他の包括利益合計	305,675	194,209
四半期包括利益	613,746	981,601
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629,881	989,535
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,134	△7,933

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント							調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	旅客自動車 運送事業	建設業	清掃業・ 警備業	不動産事業	観光事業	その他の 事業	合計		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	16,063,470	6,634,286	1,394,170	410,810	409,613	1,966,548	26,878,900	—	26,878,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	72,461	805,328	800,575	228,793	11,410	873,798	2,792,369	△2,792,369	—
計	16,135,932	7,439,615	2,194,745	639,604	421,024	2,840,346	29,671,269	△2,792,369	26,878,900
セグメント利益又は セグメント損失(△)	859,901	242,112	99,135	268,080	△388,973	47,156	1,127,413	△31,936	1,095,477

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しておりません。